

第9回全国路面電車サミット 2008 福井大会 「ひと・まち・環境をつなぐLRT」

お疲れ様でした！ 「サミットの感想」特集やざー



活動報告

- 10月11日 サミット全体打合せ
- 14日 サミット実行委員会
- 17日～19日 全国路面電車サミット
- 24日 事務局会議
- 11月 1日～2日
全国バスマップサミット新潟
- 8日 鶉小学校オータムフェスティバル
- 19日ミーティングテーブル第2回目プレゼン
- 21日 11月例会

今後の予定

- 11月26日(水) 全国路面電車サミット最終実行委員会
- 11月27日(木) まちづくり市民シンポ
- 11月30日(日) 福井市消費者まつり
- 12月 6日(土)
「人と環境に優しい交通をめざす全国大会」(横浜)
- 12月12日(金) 12月例会

ゆうじんの部屋 書籍紹介

日本の「安心」はなぜ、消えたのか

山岸俊男 集英社 1680円

ISBN978-4-7976-7172-8 C0011

国の制度を設計するとき、他国を参考に、国民性を加味してアレンジすることが多い。しかし、「国民性」を見誤っていたら。経済の能率化には、信頼の構築が不可欠であるが、組織への忠誠等の日本人の「特質」と思われているものは、生まれつきではなく、そうすることが得だからそうなっているだけで、グローバル化する社会では、信頼を構築する社会の設計が重要と説く本。

まちづくりでも、顔の知れた固定されたメンバーでやっていけば裏切られることはないが、発展性もない。「利己的な遺伝子」「ゲームの理論」も踏まえた「新道徳書」として推薦する。

(財)国土技術研究センター調査第3部長 美濃部 雄人 Minobe Yujin



パネル準備
お疲れ様でした！



延べ500名の方に見ていただきました

3日目のハーブでのふるさと電車に乗ってですが、楽譜はレセプションでの黄色いのもと同じもので、即興で伴奏をつけられたのでしょうか？もしそうだとすれば、プロはすごいなーと感動です。ハーブ向きの編曲など考えたことはない私なので、林さんの作曲が良かったのか、すごい名曲に聞こえました。(自分で歌っているときは歌いにくい変な歌だなと思っていたのですが)合唱、林独唱(誰かのハモリがあったほうがいいのか)ハーブの3部作のCDでも作っていただければ買いたいです。(高音質の生演奏のテープが取ってあればの話ですが)

また、レセプションでは発言の機会を与えていただき、ありがとうございました。事務局の仕事を全くしていなかったのに・・・本当にまちづくりの意識が北陸では高まっていると感じました。はたさんの少し緊張した素朴な閉会のことば、よかったです。

東村市長が、連続立体で平面移設ができる制度を国が作ったのに福井市が反対して実現できなかった。せっかく制度を作ったので、どっかでやってやろうと思っていたら、富山市がとびついた。という部分は、にがわらいしながら聞いていました。 【美濃部 雄人】

皆さん、3日間というより1年間、本当におつかれさまでした。準備の段階には手法のことで一触即発の状態になったこともありましたが、「全国から来る人によく学びよく楽しんでもらう場を用意して、できればホジロバまちづくりを持ち帰ってもらいたい。そして何より福井がホジロバまちづくりに進む後押しをしたい。」という目標がぶれることはなかったと思います。

県外から来られた初対面の方とお話できたのはさほど多くはありませんが、皆さん口々に、「とても楽しめた」「有意義だった」「よくやりぬいた」と大変満足されたようでした。

また新聞報道もほぼ私たちの想いが反映されたような記事構成で予想していたより大きく扱われていました。会場に足を運ばれなかった方にも大きなインパクトを伝えることができたかなと思います。

それにしても今回のサミットは、福井市・福鉄・えち鉄・エコプラン・公共政策学会・福井大学・演奏家さん・・・と、すこぶる多くの方々と一緒に連携する難事業でした。こんなことができたのも、ROBAが多様多才な会員の集まりだったおかげですね。 【佐藤 弘之】



「世界に響け！福井産楽器の共演」



「受付 . c o m」



「受付は束の間の休憩・・・
バ州子もお昼寝？」

全国路面電車サミットに参加して

私は3日間のうち2日しか参加できませんでしたが、とっても充実した2日間でした。2日間司会を務めさせていただいたのですが、初めての経験でとっても楽しかったです。いろいろ勉強になることも多く貴重な経験となりました。司会をしている最中にたくさんのスタッフの方に助けていただいたことが心に残っています。本当にありがとうございました。

2日間の講演会の内容もとても楽しく勉強になるものでした。司会をすることに夢中であまり講演を聞くことができなかつた箇所については、後日DVDで見直したいと思っています。みんなの手で作りあげたサミットはあたたかくて素敵な3日間だったのではないかと思います。 【大西友世】

サミットの準備ならびに運営に係わった皆様お疲れ様でした。私は土日の2日間だけ参加しましたが、両日とも物品販売コーナーを担当していたため、残念ながら講演はほとんど聞くことが出来ませんでした。

しかし、会場の外にいても講演の雰囲気は十分に伝わって来ました。DVDで見せていただくのを楽しみにしています。2年前の長崎大会には参加してなかったため、路面電車サミットは今回が初めてでしたが、いろんな方の協力やサポートがあってこそ開催できる大会であることを身にしみて感じました。

日曜日は好天に恵まれ、えち鉄福井口駅や福井駅前電車通りなどでイベントが開催されていたため、そのついでにサミット会場も見て行こうと立ち寄った方も多かったようです。マスコミにも大きく取り上げていただいて、車社会の福井において公共交通を見直す良いきっかけ作りになったと思います。

2年後の富山大会までには、福鉄とえち鉄の相互乗り入れならびに福鉄の福井駅西口乗り入れは少なくとも実現しているでしょう。将来的には、福鉄とえち鉄が経営統合され、北陸新幹線開業後のJR並行在来線も含めて運賃体系を一本化し、利用しやすい公共交通網を築いて欲しいものです。

【鳥居 健】

一日目終了後、岡山から見えられた方と食事に行きました。行きはえちぜん鉄道で西福井まで行き帰りは田原町から福井鉄道で駅前まで戻りました。その時、田原町で分断された線路を見て、なぜ、つなぐことができないかと聞かれました。えちぜん鉄道と福井鉄道の相互乗り入れがサミットまでに実現できず残念だと指摘ありました。相互乗り入れの計画はありますが実現できていません。何か障害があるのかと聞かれ私は返答できませんでした。

それから、サミットでは畑副会長の閉会の挨拶でもありましたように女子高校生の姿もちらほら見かけました。若い人たちに関心をもってもらういい大会になったと思います。それから 福井大学川上研究室の皆さんご協力ありがとうございました。皆さん本当にお疲れ様でした。 【玉井 秀和】

内田会長はじめ、実行委員会、事務局に係わった方の熱意と努力行政、関係機関の方の協力を得て無事終了することができました。期間中は、運営の方にいたので内容は把握できておりませんが、いろんな方との交流ができたことは感謝です。

特に、2年前の2006年10月28日に開催された「フクイの秋色まちなかおもしろクイズ みてきて LET'S GO」を駅前商店街振興組合の協力を得て、実施したイベント（ROBA 主催）を開催したときに、第1号に参加された親子がサミット3日目にわざわざ訪ねてくれました。よほどROBAの活動が印象に残ったのでしょうか新聞を見て越前市から来てくれました。しばし、当時のことで話に花が咲きました。大変うれしかったです。

今回もまたいろんな分野の方との交流をすることができました。この関係を更に深めて、次の実現に向けて決意を新たにしたサミットでした。この第9回全国路面電車サミット2008福井大会の大成功の様子が故坂川前市長に届くことを祈念して。 【高橋 八州太郎】

関係者の皆様本当にお疲れ様でした。全国から来ていただいた参加者の皆様ありがとうございました。企画段階から会議に参加していましたが、京都にいたことと、博士論文執筆間近で、あまりお手伝いできず申し訳ございませんでした。

路面電車サミットは故坂川市長が京福電鉄の危機を訴えた熊本大会から、函館、高知、長崎と続けて参加してきました。私にとっても充実した内容で、国、行政、市民団体、事業者にとってもそれぞれ参考になるところがあり、中身の濃い内容であったと自負しています。何より地元の人々の盛り上がりも感じた大会でした。次の富山大会はプレッシャーがかかるなと感じています。富山市長に2年後お願いしますと伝えると、選挙通っていればなと返されてしまいました。

ショックだったのは「函館夢レール」が解散してしまったことです。鉄道の存続もですが、市民団体の存続も簡単ではないと感じています。そんな中で福井大学川上先生とゼミ生、福井の様々な市民団体、それに行政や福鉄、えち鉄と連携してサミットを開催できたことは大きな喜びでした。

さらに、荻原先生のバッテリートラムの実験に参加し、これはRACDA高岡としてですが、近いうちに万葉線の新高岡駅ならびに氷見・城端線のLRT化を進めていこうと決意を新たにしました。福井はトラムトレインでLRT化ですね。色々貴重な体験をさせていただき感謝しております。

【松原 光也】



「福井大学バッテリートラム実験の公開」



「路面電車ミニツアー」

おつかれさまでした。中味の濃いすばらしいサミットでした。えち鉄復活、堺市のLRT計画、富山森市長と福井東村市長との会談での「メ」は川上先生のすばらしいコーディネートとぶりとともに、今までのサミットにない感動のプログラムでした。ROBAの皆さんの企画力と努力に敬意を表します。家についてのすぐの走り書きのお礼をお許し下さい。ご苦労さまでした。ゆっくりとお休み下さい。

【とよはし市電を愛する会 伊奈彦定】

路面電車サミット福井大会に参加して

今回のサミットには、仕事の都合で18日と19日の2日間だけ参加させていただきました。18日に福井鉄道西武生駅で行われた「福井大学バッテリートラム実験の公開」には予想を超える120名もの参加者があり、準備した資料がほとんどなくなってしまうという盛況ぶりでした。説明をされた福井大学の萩原先生や電池メーカーの社員は参加者の質問攻めで、バッテリートラムに対する関心の高さを感じとることができました。将来、バッテリートラムが実用化した暁には、福鉄・えち鉄から非電化の越美北線への乗り入れも夢ではないと思いました。

2日間の行事で一番印象に残ったのは何といっても市長会談で、森富山市長の話のうまさには思わず引き込まれてしまいました。福井と並ぶ全国有数のクルマ社会である富山で、どうしてLRTが誕生し路面電車路線の延長が進んでいるのか以前から疑問に思っていたのですが、あの話術と行動力を見て謎が解けました。もっとも富山の成功は市長だけの力ではないと思いますが、東村福井市長も森富山市長のあの独特のキャラを少し参考にされてはどうかと思いました。

サミット終了後、職場の同僚や近所の住人など何人もから、サミットはどうだったという質問を受けました。公共交通には全く関心のないような方々からの問いかけに正直いってびっくりしました。サミットに参加しなかった人々の間にも、私達の活動が徐々に浸透しているということを実感しました。

【岸本 雅行】



「福井市長、富山市長の対談」



過日は大変お世話になりました。裏方さんとしてご苦労されたことと拝察しますが、これまでの中でも遜色ない立派な会合で感心しました。又福井駅周辺がすっかり改装され明るい都市を思わせるのは好印象をもたらしたのでは。勿論電車も良くなりこれも昔日の面影ないくらいになったのも良かったですね。

講演会では坂井氏、見奈美氏、加藤博和氏、川上氏司会森市長などが印象に残りました。よくここまで意欲的なお話を取り揃え皆さんを刺激したのは一大成果だと思います。貴兄らのご努力に敬意を表します。長崎で福井に決定した時は代表が大変心配されていて、岡氏が支援すると言って納得されたのが記憶していたので。DVDにまとめられるのは大変結構でこれからはこの方式になるでしょうね。

【札幌LRTの会 臼井 寛】

3日目は、地域公共政策学会シンポジウムとLRTフォーラムを見ました。「えちぜん鉄道の5年間を振り返って」題した基調講演において、えちぜん鉄道の再生の取り組みについて、経営の最前線に立つ見奈美社長の直接のお話を聞くことができた貴重な講演会であった。

まず、えちぜん鉄道の経営について、第3セクターということで、利益を上げることと同時に、公益性を発揮し社会に貢献する視点が重要であり、そのため利用者を増加させることが最大の使命であると考えているとのことでした。

また、設立当時は、平均年齢32歳、鉄道経験者が30%程度という素人集団だったが、それが逆に何でもチャレンジする社風を作り上げたという話である。その結果、設立当初に目標としていた年間330万人を昨年度ほぼ達成したとのこと。「ローカル線ガールズ」や国土交通省の2008年「日本鉄道賞」の受賞など、様々な話題を振りまいている秘密がよくわかった講演でした。

午後からのLRTフォーラムは、福井大学の川上先生をコーディネータとして、富山市の森市長、福井市の東村市長の会談でした。川上先生は、両方の市の公共交通に関わっておられ、どちらの事情にも詳しく、森市長、東村市長の話をうまく引き出した会談だったと思いました。東村市長は、県庁職員時代にえちぜん鉄道支援室に勤務していたので、その時のエピソードを話され、市民の継続活動の盛り上がり、結果として多くの出資金を集めることができ存続につながったことを話されました。

森市長は、公共交通を基軸としたコンパクトシティ政策について、市民へ直接説明するタウンミーティングに積極的に出かけて理解を求めていった苦労話をされました。一方で、すべての市民の理解を得ることは難しいので、ある程度トップダウンでやることを、裏話（よい結果になるよう地元住民の意見を中心に集計したアンケートの公表など）を交えてユーモアたっぷりに話をされました。

【福岡 敏成】

2日目夜のレセプションでは「司会」「電太、バ州子の人形劇漫才」「歌唱指導」と八面六臂の活躍（誰も言ってくれないので自分で言ってしまいました）でした。残念なのは、老人力のおかげでギターを押さえる左手が霞んで、歌唱指導はバタバタでした。

今回、一番うれしかったのは「ふるさと電車に乗って」がROBAGG（男性合唱団）とハーブ（葵美紀さん）とのコラボで演奏されたことです。偶然か必然か？リハーサルの部屋が一緒になり、コラボの願いを心良く承諾していただきました。もう一つ、「ふるさと電車に乗って」のハーブ独奏を目の前で聞いたことでしょうか。嬉涙を抑えるのに必死でした。（うそではありません）

最後にもう一つ、写真短歌集「ジャパニーズ電車ガール」が9冊も売れました。そんなわけで、講演はDVDでゆっくり拝見します。皆様、お疲れ様でした！

【林 照翁】

前略 今回、開催されました第9回全国路面電車サミット2008 in 福井大会盛大に挙行されて真に感激致しました。個人的には、北陸路は初めての地でありましたので見るもの、聞くもの、ひととの会話と全てが新鮮さでいっぱいでした。市民の皆様の暖かい心情をじかに体感できて、それをも貴重な心のおみやげとして、帰崎致した次第であります。

まさに全国より路面電車関係者、それをとりまく人たち、まさに貴団体掲げた「ひと・まち・環境をつなぐLRT」の趣旨に賛同された方々でご盛会で内田様はじめ会員の皆様におかれましてはご苦労さまでした。

これからも地域の共有財産のひとつとしての路面電車&LRTをこれからの世代受け継いでいきましょう。これからもどうか、ご体にご自愛ください。

関係各位の方にもよろしくお伝えください。敬具

平成20年10月29日

【長崎路面電車の会 会長 坪口満明】

あっという間のサミット3日間



バスターミル1Fのタイ焼きを食べていたところをキャッチ



残務処理真最中（DVD 発送準備）

「あーあれもやってない！」「事前打ち合わせと違っている！」と、前日16日(木)夜のAOS SAは、ROBAの切羽詰まったような声に包まれ最終仕込み真最中でした。思い起こせば福井でのサミット開催が決まってから随分と時間があつたのに、それまでの時間は何をしていたのかな？と思うほど当日までバタバタしました。そんなドタバタもスタッフの皆さんの情熱・思いやり・愛情・人脈で乗り切ることができました。（ごくろうさま）

今はまだ残務処理が大変で、サミットが終わった気分ではありませんが、来場して下さった方々より少し長くサミットが続いているだけなので、一味違ったサミットを味わっています。来場して下さった皆さん、ご協力いただいた皆さん、会員のみなさん、本当にありがとうございました。

【はたみゆき】

照ちゃんの気になる風景 part11



最近、市内バス停に現れた福井市内のバス路線図。確かに、今までのバス停には時刻と行き先が載っているだけで、バス運行の情報が少なく利用しづらいものでした。

ただ、このバス路線図にはバス停名しか載っていないので、目的のバス停に行くには「のりのりマップ」が必要。

利用者から言わせてもらえば、このようなバス路線図よりも、このバス停から乗れる路線図や、バス運賃を載せてもらった方がはるかに使いやすい

と思います。もちろん「のりのりマップ」のCMがあれば、goodですが……。



作/漆崎 耕次

「たくさん売れました！RACDA高岡:企画の電車ネクタイ。次回のデザイン期待しています！」

編集後記 ……編集委員より一言

林(変集長)

「冬到来！バス通勤からP & Rえち鉄通勤にシフト中」

塚谷(副編集長)

「サミットの路面電車ツアー。緊張でかみまくりました」

内田(発行責任者)

「『ふるさと電車に乗って』が好評なのがうれしい」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: roba@mbh.nifty.com

URL: <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>